

保護者のみなさま

牛込仲之小学校長 下津 裕
PTA会長 野中 一彦

通学路の安全確保について(お願い)

◎ 夕方5時までには外遊びから帰宅させましょう！

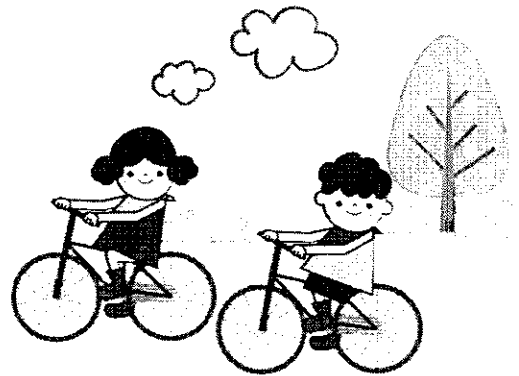
朝晩がすっかり冷え込むようになるにつれ、木々も色付くようになってきました。秋も本番を迎え、勉学・スポーツ・遊びにと子どもたちは元気に取り組んでいることと思います。

今回のお便りは、学校への登下校、あるいは放課後外遊びに出かけるときの子どもたちの安全確保のお願いです。11月も下旬に入り、夕方5時には日が陰るようになりました。学童に通う子どもだけでなく、一人で出歩くことが多くなっている高学年の子どもたちにも改めて注意を促していただきたくお願いいたします。

警察の資料(小学生の交通人身事故発生状況～平成23年上半期～)によりますと、交通事故の発生件数の多い時間帯は16時～18時(全体の36.8%)、

14時～16時(同じく26.1%)に集中しています。特に高学年は自転車乗車中の事故が多いので、夕方急に暗くなる時間帯には電灯を早めにつけることを指導したいものです。

また、昨年度より「放課後子どもひろば」が始まっていますが、これは学童ではなく、公園と同じ性格のものなので、やはり5時前に帰宅するよう子どもに言い聞かせましょう。



◎ 子どもの安全確保は保護者全員の責務です！！

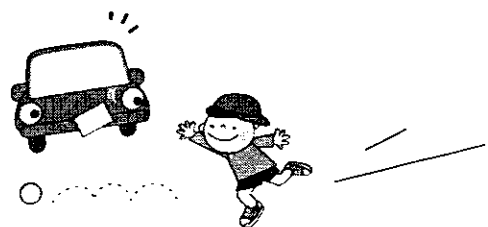
学校から家への帰り道、放課後遊びに出かけるとき等、決められた道を通らずに寄り道や回り道をして時間を過ぎても辿り着かなかったり、歩道を友人とふざけながら拵がって歩いたり、ガードレールの外側にはみだしたり、、、

どれも、一つ間違えればケガや事故、犯罪に巻き込まれる可能性があるものばかりです。

いきなり頭をなでられたり、不審者に声を掛けられたりと、児童を狙った犯罪は頻繁に発生しています。

「うちの子に限って」と思い込むのは危険です。「慣れてきたころに一番事故が起こりやすい」ということは、みなさんもよくご存じのことと思います。今一度、子どもに安心安全について、よく言い聞かせてください。

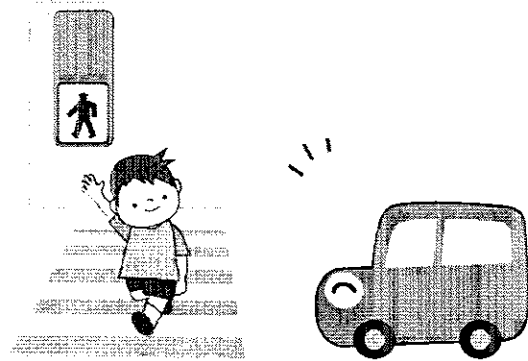
事故やトラブルが起きてしまってからでは遅いのです！！



(参考) 日常でできる安全確保

以下にご紹介するのは、安全確保に関する具体的な取り組みです。参考にいただき、一つでも、できることから始めていきましょう。

- 『いか・の・お・す・し』を保護者も覚え、子どもと一緒に復唱する。
「ついていかない」「乗らない」「大声を出す」「すぐ逃げる」「知らせる」
- 子ども同士でお友達の家で遊ぶ約束をしてきた場合、出かける前に親同士で電話で確認しあう。(出かける時間、その後外に遊びに行く場合にはその場所、帰宅時間等)
- 子どもが遊びに行く前に
 - ① いつ
 - ② 誰と
 - ③ どこで(遊ぶ場所)
 - ④ 帰宅時間を確認しておく。時間になっても帰宅しない場合、迎えに行く。
- 遊びには、
 - ① 自転車で行かない(子どもの交通事故原因のNO.1は自転車事故)
 - ② お金を持っていかない
 - ③ 一人だけで公園等に残らないという約束事を子どもに徹底する。
- 子どもと一緒に通学路を歩いてみて、どこが危ないか、またどこに『ピーポ 110 番の家』があるのか等を確認、話しあって安全確保について繰り返し意識させる。
- 毎月1回、自分で決めた日の登下校時に近所の辻に立ち、子どもたちを見守る。
- 買い物などにあわせて、自転車でパトロールする。その際、付近の要注意個所をチラリとでもいいので、一目見るようにする。
- 登下校の時間(特に下校時)にあわせ、買い物や、犬の散歩、花の水やり、打ち水(夏)をしたり、また知り合いや近所の方にしてもらうように呼び掛ける。
- 遅くまで遊んでいる子どもには、他人の子であっても「もう帰る時間だよ」と声を掛ける。
- 外出する時、自転車、バッグ等に「防犯パトロール」のステッカーを貼付する。
- 日頃から緊急時のために、子どもに大きな声で叫ぶ訓練をさせる。
- 防犯ブザーを常に子どもに携帯させる。また、1ヶ月に一度は、防犯ブザーの電池が切れていないか、防犯ブザーが壊れていないかを確認する。
- 一斉下校などで下校ルートに危険なところがないかなどを見て回る。



一人一人が意識をもてば、たとえ一人は少しのことしかできなくても、地域は子どもにとって安全な街になっていくことでしょう。みんなで“子ども”を守りましょう！！